別紙様式第１１号

詳細事業実績報告書

事業番号	①	申請事業名	まち歩きワークショップ

具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）	H29 年 7 月 1 日（土） 各地区より小学校運動場まで 通学路マップを参考にしながら、危険な場所がないかチェックする 一緒に通学路に落ちているごみを拾いながら学校まで来る 学校に着いたらアンケートに答えて危険と感じた場所の通学マップを拡大した地図にシールを貼る コモパンと飲み物をもらって各自解散 参加人数　163 人　アンケート回収　93 通
成果と課題	通学路マップの利用の啓発になった 親子であるくことで、通学路の危険な場所をお互いに理解できた 危険箇所の改善を市長に要望したことで、2 カ所に 文 マークがつき 1 カ所 交差点のカラー化実現した 今回改善が見送られた危険箇所については根気よく市に働きかけていく必要がある

別紙様式第１１号

詳細事業実績報告書

事業番号	②	申請事業名	うおずみまつり・敬老会

具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）	平成 29 年 10 月 14 日（土） 魚小運動場と体育館 うおずみ祭り 幼稚園の演目にはじまり明石明商のダンス部による演技、魚住東中学校による ブラスバンドの演奏によるオープニング 自治会や協力団体、まちづくり応援隊による模擬店の開催をした 敬老会 今年度も対象者のかたにバスの送迎を行った（希望者） 児童クラブからのお祝いをくじ引きで渡し、自然・環境、歴史部会による 「魚住再発見」の発表、アンダンテによる大正琴の演奏、おさるさんによる 「笑いヨガ」をみんなで一緒に行った うおずみ祭り　600 人 敬老会　200 人
成果と課題	3 年目を迎えうおずみ祭りの認知度も上がってきており参加者は増えている もう少し模擬店が増えるとより活気がでてくる 昨年から同じ日に開催している敬老会もまつりも続きで参加する方が 少しづつ増えている バスの送迎は好評ではあるが、当日のご自身の体調や急に思い立った方への 対応が難しい

別紙様式第１１号

詳細事業実績報告書

事業番号	③	申請事業名	防災・避難訓練

具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）	H29 年 11 月 4 日 各自治会より小学校 午前 9 時に南海トラフ地震が発災し、明石市魚住町も震度 5 強の地震を観測したと 想定して各自治会よりの避難場所である小学校に避難してくる訓練を行った 避難場所である小学校では避難所開設の訓練を、本番通りに行い実際に体育館の中に 避難し、避難者名簿の作成も体験した 運動場では、総合訓練として市の各種関連団体・企業による発災時の訓練が行われ 地域住民も消火器訓練や救護訓練等に参加した 最後にアンケート記入後に、炊き出し班が作ったとん汁とごはんを食べて解散した 参加人数　５００人
成果と課題	市の総合訓練に参加できるなかなかない機会に恵まれたが、内容が盛り だくさん過ぎて参加者が戸惑うこともあった カテゴリー別に整理をしながら必要な訓練は引き続き継続して行う必要が ある

別紙様式第１１号

詳細事業実績報告書

事業番号	④	申請事業名	左義長・防災訓練

具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）	H30 年１月１３日 小学校運動場・体育館 地域から前日に竹を切って組み立てて置いた左義長に当日小学生の書いた書初めや 家のしめ縄を入れて燃やした 魚住東中学の吹奏楽部のオープニングの演奏を今年もして頂いた 体育館の中では、段ボールベットを組み立て、簡易トイレの組立、若い世代の方の 防災の理解を深めるための防災ママカフェ等をおこなった 明石清水高校によるとん汁の炊き出しや炊き出し班によるおぜんざいをだした 昨年好評だった羽根つきやけん玉、こま遊びを行いもちつき体験も子ども中心に行った 参加人数　５００人
成果と課題	左義長も２年目を迎え参加人数も増えた 運動場でする左義長と体育館の中で行う防災体験は人の流れが出来にくく 今後検討すべき

別紙様式第11号

2017年度詳細事業実績報告書

事業番号	⑤	申請事業名	校区自主防災組織の構築

具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）	6/27　魚住小学校コミセン会議室　第1回校区防災会議　約40名 校区防災組織構築に向け平常時非常時の組織体制の班や役割について意見交換を する。また、当初計画の11月の避難所開設訓練についての意思統一を図る。 7/12、8/8　魚小コミセン会議室　第2、第3回校区防災会議　各約40名 主に11月の避難所開設訓練について、その内容や明石市総合安全対策室との連携 を含めた班の役割や作業について打ち合わせを重ねる。同時に校区自主防災組織 設立に向けて組織の内容や人選などを検討する。 9/15　魚小コミセン会議室　第4回校区防災会議　約40名 明石市総合安全対策室との度重なる打合せの結果、11月4日実施予定となった 避難所開設訓練に明石市総合防災訓練の概要説明を行う。 10/20　魚小コミセン会議室　第5回校区防災会議　約50名 11月4日実施と決定した訓練の役割行動についての最終確認を行う。 10/27　魚小コミセン会議室　臨時班長会議　10名 校区自主防災組織の各班班長に集まって貰い11月4日当日の行動の再確認を行う 。 11/4　魚住小学校　校区避難所開設及び明石市総合防災訓練　約500名 明石市職員、校区住民の前日準備を経て天気にも恵まれた当日午前9時に訓練が 開始された。紆余曲折はあったものの、訓練は終了。 11/24、12/15、2/20　魚小コミセン会議室　第6,7,8回校区防災会議　各約35名 訓練の振返り後、今後の活動方針の根底となる意見交換を2/20に行う。 1/13　魚住小学校　左義長　約400名 小学校グランド、体育館にて昨年11月訓練で不足した部分を補う訓練を実施。 また、新たな試みとして防災ママカフェ（多世代で防災）を開催。
成果	・活動を行う中、校区の各自治会の防災に対する認識が少しずつ上がっていると思われる。 ・校区の住民の方々から防災の自助共助についての色々な意見や要求が出ていることが窺える。 ・校区防災会議を支えてきたメンバーが今後の校区防災に関わる強い意識をもたれているとまち協で認識。

別紙様式第１１号

詳細事業実績報告書

<table>
<tr><td>事業番号</td><td>⑥</td><td>申請事業名</td><td>健康・福祉部会</td></tr>
<tr><td>具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）</td><td colspan="3">①きずなサロンを毎月第２水曜日 10 時から 11 時 30 分に喫茶くすのきで開催
開催月　テーマ　開催月　テーマ
4 月　アロマセラピー　10 月　みんなと一緒にマジックを
5 月　笑いヨガ　11 月　筋肉のリラクゼーション
6 月　モノづくり体験コーナー　12 月　癒しの音楽ワークショップ
7 月　口腔ケア　1 月　心の健康づくり・室内でできるウォーキング
8 月　油断大敵熱中症　2 月　指編み
9 月　心がおちつくやさしい気功　3 月　お片付け　まずはスタート　誰でも簡単　最初の一歩
②現在活動中の体操拠点をマップに示し、また各拠点を訪ね記事と写真による紹介資料を作成した。
③「元気アップ体操」H26 年より継続　毎月第 2・第 4 木曜日　13 時 30 分から 15 時　コミセン会議室で開催
④サポートセンター翔さん主催の「フェスタ　翔　夏」に参加</td></tr>
<tr><td>成果と課題</td><td colspan="3">①きずなサロンはリピートの参加者も増え、着実に定着してきていると考えられる。
②体操拠点の増加を目指しているが、体操拠点マップ・紹介資料の作成過程において現在活動中の拠点が魚住小学校区で１２あることが分かった。次年度はマップ・紹介資料を活用して拠点の増加を目指す。
③元気アップ体操（コミセン会議室）は継続運営されており、地域の人の健康増進に役立っている。今後は参加者を増やすことが求められる。
④社会福祉法人　翔の「フェスタ　翔　夏」への参加は初めてであったが、今後はもっと積極的に参画していくことが必要と考える。</td></tr>
</table>

別紙様式第１１号

詳細事業実績報告書

事業番号	⑦	申請事業名	安全部会

具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）	○H29.7.1 ・みんなで通学路マップ点検＆クリーンアップ事業 ～清掃とともに通学路の危険箇所調査、各自治会ごとに魚小校庭へ ・参加者　163 人　アンケート回収　93 通 ・危険箇所　22 ・現場確認し安全部会でまとめ 11/21 明石市長、明石警察署長にへ要望書提出 ○校区見守り組織作り ・学校園、見守り団体の活動状況の把握、情報の共有を安全部会で魚小、魚幼（書面）東中、明石清水高校、魚小 PTA、金ヶ崎高年クラブ、金ヶ崎子ども会、スクールガード魚住 （場所、時間、活動内容、人数など） ○自転車通行の自粛の申し入れ―30.1211（守池自治会、安全部会） 明石商業へ守池団地中央広場の通行に対し ○安全部会の閉鎖（29.5～30.4　10 回開催）
成果と課題	○通学路マップ点検 ・マップの認知、通学路、生活道路への関心が深まった。 ・要望回答、文（学校マーク）が 2 カ所、交差点カラー化が 1 カ所新設された。 横断歩道２カ所ほか３１年度の予定かも。 ○安全部会参加の団体（魚小、PTA、高年クラブ、校区子ども会、自治会、スクールガード等） また、東中、明石清水高校との安全への情報の共有ができた。 ○働き方、家庭事情により見守り割当が負担になり、また、高齢化により、人材不足がが顕在化 みんなで見守りが必要となった。

別紙様式第１１号

詳細事業実績報告書

事業番号	⑧	申請事業名	子ども部会

具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）

「みんなでおべんきょう」　毎週水曜日　15 時～１６時半　コミセン会議室
小 1～小５までの 60 名の児童を対象
宿題を中心にドリルを行う
明石清水高校「人と環境類型」の生徒、地域ボランテァの方々と運営をする。
長期休暇中も基本行う

「みんな de ごはん」　２ヶ月に１回　　１０時～１２時　　コミセン会議室
未就学児から小学生、高校生、高齢者までの 30 名程の多世代の方が対象
コミセン会議室を中心に明石商業高校の家庭科室を借りたりして地産地消、食育を学びながらみんなで用意し、調理し、食事をして後片付けをする
明石清水高校、明石商業高校、明石いづみ会、コープこうべ等の協力で開催している

「里山ジュニアくらぶ」　毎月１回　第１土曜日　　９時～１５時
自然・環境・歴史部会との協賛事業で会員２名と部会メンバーが対象
午前中昆虫や植物の観察をする、午後からは里山整備を主に行う
エコウィングあかしの協力、指導の下行っています。

成果と課題

「みんなでおべんきょう」は口コミ等で認知度も上がり 29 年度はたくさんの児童の参加があった。関わるスタッフの数が３名増えたがまだまだ十分な人数に届かず高校生の協力なしでは厳しい。
「みんな de ごはん」は 29 年度８月からの立ち上げで幼児から高齢者まで多世代交流ができるのでみんな楽しんで取り組んでいる。開催の場所や内容をより充実させていきたい
「里山ジュニアくらぶ」は午前・午後の活動内容はかなり充実しているので、対象の会員を募集して参加者を増やしていくひつようがある。

別紙様式第１１号

詳細事業実績報告書

事業番号	⑨	申請事業名	自然・環境・歴史部会

具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）

◎春の親子自然体験ｉｎ金ヶ崎公園 part4
・実施日 4 月 23 日　・開催場所　金ケ崎公園　・参加者 58 名
・内容　スタンプラリー、春のアートづくり
◎夏の親子自然体験ｉｎ金ヶ崎公園 part5
・実施日 8 月 27 日　・開催場所　金ケ崎公園　・参加者 84 名
・内容　ザリガニ釣り
◎冬の親子自然体験 in 金ヶ崎公園 part6
・実施日 2 月 18 日　・開催場所　金ケ崎公園　・参加者 53 名
・内容　冬越しの生き物観察。観察ノートの作成
◎金ケ崎公園の観察及び里山整備
・実施日 6 月 3 日以降、原則毎月第一土曜日。
・「里山ジュニアくらぶ」を併せて実施。12 月 9 日、2 月 3 日、3 月 3 日
・内容　エコウイングあかしのサポートを受けながら、午前中は観察会、午後は公園整備。
◎聞き取り調査を通して、地域の身近な歴史・文化を掘り起こす。
・実施日　随時（約 2 回）・開催場所　随時　・参加者　数名
・内容　部会員が、高齢者を囲んで昔の生活や風景の話をする。
◎「春の親子自然体験ｉｎ金ヶ崎公園 part4」下見をかねて、親睦会（花見）
・実施日 4 月 16 日　・開催場所　金ケ崎公園　・参加者 15 名
・内容　イベント開催予定場所の確認と花見
　　スタッフ立ち位置、スタンプラリー設問、参加者への注意事項等確認。
◎夜の金ヶ崎公園散策と星空観察
・実施日 7 月 23 日　・開催場所　金ケ崎公園　・参加者 15 名

成果と課題

◎親子自然体験イベント
・スタッフに高校生が加わり、スタッフ間の世代間交流やイベント内容にも新たな視点が加わった。
◎金ケ崎公園観察及び里山整備
・「里山ジュニアくらぶ」を開始したことによって、この事業でも世代間交流ができた。
・地域住民の参加者や里山ジュニアくらぶ参加者の増加に努める。
◎聞き取り調査
・聞き取った身近な話題を中心に、10 月の敬老会で発表した。
・高齢者への聞き取り方法等、継続には工夫が必要。

別紙様式第１１号

詳細事業実績報告書

事業番号	⑩	申請事業名	広報紙

具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）	年１回はカラー刷り４ページ、３回は両面カラー刷り、全世帯配布 ■H29 年　6 月 30 日発行　No9（4 月～6 月） ・総会　28 年度事業報告　会計報告 29 年度事業計画　予算 ・まちづくり協議会報告　お知らせ　など ■H29 年 9 月 20 日発行　No10　(7 月～9 月) ・9 月 10 日　自主防災組織始動・部会報告　など ■H29 年 12 月 20 日発行　No11（10 月～12 月） ・10 月 14 日まつり＆敬老会　11 月 4 日防災訓練　など ■H30 年 3 月 28 日発行　No12（1 月～3 月） ・1 月 13 日左義長　2・3 月座談会　など
成果と課題	イベントや事業報告など、まち協の活動や情報提供を掲載することで参加者が年々増加。 課題としては、読む立場で「楽しく」「まち協の認知度を上げる」内容で続けていきたい。

別紙様式第１１号

詳細事業実績報告書

事業番号	⑪	申請事業名	事務局運用費
具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）	・総会、役員会、自治会連絡会、部会活動がスムーズに行えるように、資料の作成、準備案内、活動場所の確保等の調整とフォローを行った ・まちづくり全体事業の準備、運営等の活動 ・まちづくり活動における必要機材、備品購入 ・市や関連機関への補助金の申請と報告		
成果と課題	５月の総会、毎月開催の役員会、自治会連絡会の資料等の作成、準備、場所の確保等の活動フォローはできた 部会主催の活動のフォローも行った 次年度も今年度と同じように進めればと、ただし部会活動については、予算立て、執行運営が部会で行えるように進めていきたい		